

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉に親しもう	4 (話す聞く2)	〇自分の知りたことを明確にして、質問をする。 △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。 ⇒③知技(1)ア △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強調、間の取り方などに注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ 〇目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事項を選ぶこと。 ⇒思判表A(1)ア 〇相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。 ⇒思判表A(1)イ 〇話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ウ 〇必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。 ⇒③思判表A(1)エ 〇質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動。 ⇒思判表A(2)イ	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア）	「話すこと」に関して、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつている。（〔思考力、判断力、表現力等〕A2）	積極的に必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、学習の見通しをもつて、自分のカードに書いてある名前を覚えてようとしている。
わたしは、だあれ	2 (話す聞く2)	〇自分の知りたことを明確にして、質問をする。 △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。 ⇒③知技(1)ア △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強調、間の取り方などに注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ 〇目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事項を選ぶこと。 ⇒思判表A(1)ア 〇相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。 ⇒思判表A(1)イ 〇話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ウ 〇必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。 ⇒③思判表A(1)エ 〇質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動。 ⇒思判表A(2)イ	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア）	「話すこと」に関して、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつている。（〔思考力、判断力、表現力等〕A2）	積極的に必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、学習の見通しをもつて、自分のカードに書いてある名前を覚えてようとしている。
暮のうた	2	〇〇〇〇に出して読んだり、共通点や相違点に気をつけて話したり聞いたりすることを楽しみ、国語学習への意欲をもつ。 △言葉の響きに気をつけながら、工夫して音読する。 △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強調、間の取り方などに注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ △文章全体の内容や構成の全体を意図しながら音読すること。 ⇒③知技(1)ア △幅広い読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒知技(3)オ 〇場面の移り変わりや登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉えること。 ⇒思判表C(1)イ 〇登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。 ⇒③思判表C(1)エ 〇文章を読んだ感想や考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。 ⇒思判表C(1)カ	文章全体の構成や内容の全体を意図しながら音読している。（〔知識及び技能〕(1)ア）	「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。（〔思考力、判断力、表現力等〕C2）	進んで、登場人物の気持ちの変化や情景について具体的に想像し、学習の見通しをもつて、自分のカードに書いてある名前を覚えてようとしている。
あり		〇時や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ			
一場面の様子や、登場人物の気持ちを想像しながら読もう	10 (書く3)	〇松井さんの行動や気持ちを考えながら読み、松井さんになって、「この日」のできごとを日記に書く。			
白いぼうし		△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。 ⇒③知技(1)オ △文章全体の内容や構成の全体を意図しながら音読すること。 ⇒知技(1)ウ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報の関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア △幅広い読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒知技(3)オ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ■書くこととそれが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)オ ■場面の移り変わりや登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉えること。 ⇒思判表C(1)イ ■登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像すること。 ⇒③思判表C(1)エ ■文章を読んだ感想や考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。 ⇒思判表C(1)カ ■時や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ ■時や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ ☆道徳、物語の読みをとおして、相手のことを思いやり、親切にしたり、真心をもって接することについて考える。	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。 ⇒〔知識及び技能〕(1)ウ	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕B2）	進んで登場人物の気持ちや性格、情景について具体的に想像し、今までの学習を基にして、登場人物になったつもりで日記を書くこととしている。
ぴったりの言葉、見つけよう	4 (書く4)	■心が動いたできごとを、短い文章で表現する。 △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。 ⇒③知技(1)ア △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。 ⇒③知技(1)ウ △様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒③思判表B(1)ア ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ■時や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア）	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕B2）	進んで経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、自分の文章のよいところを見付けて書くこととしている。
漢字の広場 ① 漢字の部首	2	△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を覚むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ △漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解すること。 ⇒③知技(3)ウ	漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。（〔知識及び技能〕(3)ウ）		進んで、漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習の見通しをもつて、漢字を覚えたり使ったりするときに役立てようとしている。
漢字の広場 ① 三年生で学んだ漢字 ①	2 (書く2)	△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を覚むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒③知技(1)エ ■簡単な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1)キ ■書くこととして、中心となる語や文を見付けて要約すること。 ⇒思判表B(1)オ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(2)ウ	前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）	「書くこと」において、書くこととそれが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒〔思考力、判断力、表現力等〕B2）	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書くこととしている。
二 げんかといけつろんのつながりをとらえよう	16 (書く3)	〇言葉の重さを量るという問題をつかむ過程や解決する過程の考えの筋道を、叙述をおさながら読む。	主旨と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。（〔知識及び技能〕(1)ウ）	「読むこと」において、段落相互の関係性や、中心となる語や文を見付けて要約している。（〔思考力、判断力、表現力等〕C2）	粘り強く、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉え、学習の見通しをもつて、結果と結論のつながりを捉えようとしている。
その重さを量る	2	△主旨と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ⇒③知技(1)カ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報の関係について理解すること。 ⇒③知技(2)ア △比較や分類の仕方、必要な知識や情報の量、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ △幅広い読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒知技(3)オ ■書くことの中心を明確にして、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ■段落相互の関係に注目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。 ⇒③思判表C(1)ア ■文章を読んだ感想や考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。 ⇒思判表C(1)カ ■書くこととそれが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)オ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(2)ウ ■時や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア ■時や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)ア	主旨と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。（〔知識及び技能〕(1)ウ）	「読むこと」において、段落相互の関係性や、中心となる語や文を見付けて要約している。（〔思考力、判断力、表現力等〕C2）	粘り強く、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉え、学習の見通しをもつて、結果と結論のつながりを捉えようとしている。
花を見つける手がかり	10 (書く3)	〇「もしも」のうたは手がかりに花を見つけるかという問題を明確にして一つ一つの実験の結果とそこから引き出される結論、実験を繰り返していき考える筋道を、叙述をおさながら読む。 △主旨と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ⇒③知技(1)カ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報の関係について理解すること。 ⇒③知技(2)ア △比較や分類の仕方、必要な知識や情報の量、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ △幅広い読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒知技(3)オ ■書くことの中心を明確にして、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ■段落相互の関係に注目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。 ⇒③思判表C(1)ア ■文章を読んだ感想や考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。 ⇒思判表C(1)カ ■書くこととそれが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)オ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(2)ウ ■時や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア ■時や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)ア	主旨と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。（〔知識及び技能〕(1)ウ）	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕C2）	粘り強く、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉え、学習の見通しをもつて、結果と結論のつながりを捉えようとしている。
分類をもとに本を見つけよう	4	△地域の図書館へ行き、「日本十進分類法」を利用して本を探して読んだり、図書館の分類の仕方を確かめたりする。 △「日本十進分類法」のしくみを知り、本を探そうとに役立てる。 △「日本十進分類法」のしくみを知り、分類記号を手がかりに本を探して読む。 △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報の関係について理解すること。 ⇒③知技(2)ア △比較や分類の仕方、必要な知識や情報の量、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ △幅広い読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒知技(3)オ ■書くこととそれが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ■段落相互の関係に注目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。 ⇒③思判表C(1)ア ■文章を読んだ感想や考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。 ⇒思判表C(1)カ ■書くこととそれが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)オ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(2)ウ ■時や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア ■時や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)ア	③【知技】考えとそれを支える理由や事例との関係について理解している。（〔知識及び技能〕(2)ア） ③【知技】比較や分類の仕方、必要な知識や情報の量、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。（〔知識及び技能〕(2)イ） ③【知技】幅広い読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。（〔知識及び技能〕(3)オ） ③【態度】進んで比較や分類の仕方を理解し、学習の見通しをもつて、分類記号を手がかりに本を探して読もうとしている。	③【思判表】読むことにおいて、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。（〔思考力、判断力、表現力等〕C2） ③【思判表】書くことにおいて、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕C2）	

メモの取り方をくふうして聞こう	3 (話す聞く3)	○相手の話の大切なことを落とさないようにし、工夫してメモを取りながら話を聞く。 △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強調、間の取り方などに注意して話すこと。⇒知技(1)イ △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒知技(1)カ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。⇒知技(1)キ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒知技(2)イ △目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事例を選ぶこと。⇒思判表A(1)ア ○相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。⇒思判表A(1)イ ○必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを待つこと。⇒思判表A(1)エ	比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(〔知識及び技能〕(2)イ)	「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを待つこと。⇒(思思考力、判断力、表現力等)Aエ)	進んで必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって、大切なことを落としきようとしている。
漢字辞典の引き方	2	△漢字辞典の引き方を理解し、活用する。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を覚むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒知技(2)イ △漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解すること。⇒知技(3)ウ	◎【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(〔知識及び技能〕(2)イ)		【態度】積極的に辞書や事典の使い方を理解し、学習の見通しをもつて漢字辞典を活用しようとしている
三 伝わりやすい組み立てを考えて書こう	10 (書く10)	■リーフレットの特徴を生かした組み立てを考え、見学したことや調べたことを報告する。			
リーフレットで知らせよう		△漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを覚め、ローマ字で書くこと。⇒知技(1)ウ △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒知技(1)カ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。⇒知技(1)キ △考えとそれを与える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒知技(2)イ ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にする。⇒思判表B(1)ア ■書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意して、文章の構成を考えること。⇒思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを与える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ ■間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。⇒思判表B(1)エ ■書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。⇒思判表B(1)オ ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア ☆社会科：社会科見学の関連を図ることができる。	漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。(〔知識及び技能〕(1)ウ)	「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意して、文章の構成を考えている。⇒(思思考力、判断力、表現力等)Bイ) 「書くこと」において、自分の考えとそれを与える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。⇒(思思考力、判断力、表現力等)Bウ) 「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。⇒(思思考力、判断力、表現力等)Bエ)	積極的に、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考え、学習の見通しをもってリーフレットの組み立てを考えようとしている。
短歌の世界	4 (書く1)	△短歌を声に出して読み、言葉のリズムにふれる。 △易しい文語調の短歌や俳句を音読したり略唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。⇒知技(3)ア △幅広く読誦に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。⇒知技(3)オ ■自分の考えとそれを与える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。⇒思判表B(2)ウ ☆道徳：我が国や郷土の伝統と文化を大切にすること。 ☆図書館活用：短歌への関心を広げる。	易しい文語調の短歌や俳句を音読したり略唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(〔知識及び技能〕(3)ア)	「書くこと」において、自分の考えとそれを与える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。⇒(思思考力、判断力、表現力等)Bウ)	進んで易しい文語調の短歌や俳句を音読したり略唱したりするなどし、学習の見通しをもって、言葉のリズムを楽しく感じたり、詩や物語を想像したりしようとしている。
漢字の広場 ② 漢字の音を表す部分	2	△音声文字における部首や音符について知り、漢字を覚えて使い分けるときに役立てる。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を覚むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒知技(2)イ △漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解すること。⇒知技(3)ウ	漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。(〔知識及び技能〕(3)ウ)		進んで漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習課題に当たって、「音を表す部分」を漢字を覚えて使い分けるときに役立てようとしている。
漢字の広場 ② 三年生で学んだ漢字 ②	2 (書く2)	△絵を見て想像したことをもとに、3年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を覚むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。⇒知技(1)キ ■自分の考えとそれを与える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。⇒思判表B(2)ウ	前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)	「書くこと」において、自分の考えとそれを与える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。⇒(思思考力、判断力、表現力等)Bウ)	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に当たって、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
四 登場人物のせいかぐや、気持ちを想像して読もう	10 (話す聞く2)	□場面や人物の様子を想像しながら、落語を音読したり、演じたりする。			
ぞろぞろ (落語)		△相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強調、間の取り方などに注意して話すこと。⇒知技(1)イ △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒知技(1)カ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。⇒知技(1)キ △目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事例を選ぶこと。⇒思判表A(1)ア ○相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。⇒思判表A(1)イ ○話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫すること。⇒思判表A(1)ウ ○必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを待つこと。⇒思判表A(1)エ ○説明や報告など調べたことを話したり、それらを聞いたりする活動。⇒思判表A(2)ア □詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。⇒思判表C(2)イ	◎【知技】相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強調、間の取り方などに注意して話している。(〔知識及び技能〕(1)イ)	「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫している。(〔知識及び技能〕(1)イ) 「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫している。(〔知識及び技能〕(1)イ) 「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、仮説を基に捉えている。(〔思考力、判断力、表現力等)Cイ) 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けで具体的に想像している。(〔思考力、判断力、表現力等)Cエ)	進んで登場人物の気持ちの変化や性格、情景について具体的に想像し、学習の見通しをもって、落語を音読したり演じたりしようとしている。
「夏の思い出」記者になろう	1 (話す聞く1)	○話し手がどんなことを伝えたいかを考えながら、質問をする。 △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。⇒知技(1)ア △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強調、間の取り方などに注意して話すこと。⇒知技(1)イ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。⇒知技(1)キ △目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事例を選ぶこと。⇒思判表A(1)ア ○相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。⇒思判表A(1)イ ○話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫すること。⇒思判表A(1)ウ ○必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを待つこと。⇒思判表A(1)エ ○質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動。⇒思判表A(2)イ	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ア)	「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫している。(〔知識及び技能〕(1)ア)	積極的に必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって、相手の話を引き出す質問をしようとしている。
五 写真などの図のよさを知り、活用しよう	11 (話す聞く6、書く5)	○写真は撮り方によって見る人に与える感じが異なることに気づき、写真や図を効果的に用いて表現する。			
写真をもとに話そう	6 (話す聞く6)	○伝えたいことをはっきりさせて、理由や事例などをあげながら筋道を立てて話す。 △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強調、間の取り方などに注意して話すこと。⇒知技(1)イ △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒知技(2)ア △目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事例を選ぶこと。⇒思判表A(1)ア ○相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。⇒思判表A(1)イ ○話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫すること。⇒思判表A(1)ウ ○必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを待つこと。⇒思判表A(1)エ ○目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。⇒思判表A(1)オ ○説明や報告など調べたことを話したり、それらを聞いたりする活動。⇒思判表A(2)ア ☆特別活動(朝の会など)：メモをもとにスピーチをする。	相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強調、間の取り方などに注意して話している。(〔知識及び技能〕(1)イ)	「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。⇒(思思考力、判断力、表現力等)Aイ) 「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫している。(〔知識及び技能〕(2)ア)	粘り強く、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように構成を考え、学習の見通しをもって、写真から読み取ったことを話そうとしている。

新聞を作ろう		■割り付け表を作成して、わかりやすい紙面の新聞を作る。 △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。 ⇒◎知技(1)ウ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1)キ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒◎知技(2)ア ■相手や目的を意識し、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア ■書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表B(1)ウ ■間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。 ⇒◎思判表B(1)エ ■書くこととしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)オ ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア	漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っていること。句読点を適切に打っていること。 (〔知識及び技能〕(1)ウ) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 (〔知識及び技能〕(2)ア)	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にし、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ウ) 「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)エ)	粘り強く間違いを正したり文章を整えたり、学習の見通しをもって新聞を作ろうとしている。
漢字の広場 ③ 送り仮名のつけ方	2	△送り仮名は、漢字の読みや意味をはっきりさせるはたらきをもつことを理解し、漢字を正しく使う。 △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。 ⇒◎知技(1)ウ △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を綴むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書く。文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を順次書く。文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ ■丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1)キ ■相手や目的を意識し、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア ■時や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ	◎【知技】漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方方理解して文や文章の中で使っていること。句読点を適切に打っていること。 (〔知識及び技能〕(1)ウ) ◎【態度】進んで送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使い、学習課題に沿って、漢字を正しく使おうとしている。	「書くこと」において、相手や目的を意識し、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ア)	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っていること。 (〔知識及び技能〕(1)エ)
都道府県名に用いる漢字	1 (書く1)	△都道府県名に用いる漢字などを使って文を書く。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を綴むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書く。文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を順次書く。文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ ■丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1)キ ■相手や目的を意識し、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア ■時や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ	前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っていること。 (〔知識及び技能〕(1)エ)	「書くこと」において、相手や目的を意識し、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ア)	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っていること。 (〔知識及び技能〕(1)エ)
漢字の広場 ③ 三年生で学んだ漢字 ③	2 (書く2)	△絵を見て想像したことをもとに、3年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を綴むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書く。文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を順次書く。文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ ■丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1)キ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表B(1)ウ ■書くこととしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)オ ■時や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ	前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っていること。 (〔知識及び技能〕(1)エ)	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にし、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ウ)	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っていること。 (〔知識及び技能〕(1)エ)
六 場面の様子をくわべて読み、感想をまとめよう	9 (書く2)	□登場人物の思いを想像しながら、二つの場面を比べて読み、読んだ感想を友達に伝える。			
一つの花		△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、言葉を書かずにすること。 ⇒◎知技(1)ア △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ⇒知技(1)カ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒◎知技(2)ア △読む《文章》を読み、読者が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒知技(3)ア ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表B(1)ウ ■書くこととしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)オ ■時や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ □時や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ ★道徳：物語の読みをおして、生きることを喜び、生命を大切にすることをもつことについての考え方を深める。	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、言葉を書かずにすること。 (〔知識及び技能〕(1)ア) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 (〔知識及び技能〕(2)ア)	「書くこと」において、相手や目的を意識し、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ア) 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)ア) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつ。学習の見通しをもつて、心に描いた場面をもとに感想文を書くこととしている。	
いろいろな手紙を書こう	2 (書く2)	■手紙の書き方を知り、送る相手や伝える目的に合わせて手紙を書く。 △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方方理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。 ⇒◎知技(1)ウ △様子を行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、言葉を書かずにすること。 ⇒知技(1)ア △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒◎知技(1)キ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表B(1)ウ ■間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。 ⇒◎思判表B(1)エ ■行事の案内やお礼の文章を書くなど、伝えたいことを手紙に書く活動。 ⇒思判表B(2)イ	丁寧な言葉を使っているとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。 (〔知識及び技能〕(1)キ)	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、送る相手や伝える目的に合わせて手紙を書くこととしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)エ)	
修飾語	2	△文の中の修飾語のはたらきを理解する。 △様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、言葉を書かずにすること。 ⇒知技(1)ア △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ⇒◎知技(1)カ	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 (〔知識及び技能〕(1)カ)		進んで修飾と被修飾との関係について理解し、学習の見通しをもって、修飾語を見分けたらよいとしている。
七 自由に想像を広げて書く「ショートショート」を書く	6 (書く6)	■不思議な言葉を作り、想像を広げて「ショートショート」を書く。 △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方方理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。 ⇒◎知技(1)ウ △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ⇒◎知技(1)カ ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒◎思判表B(1)ウ ■書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表B(1)ウ ■間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。 ⇒◎思判表B(1)エ ■書くこととしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒◎思判表B(1)オ ■時や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ	◎【知技】漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方方理解して文や文章の中で使っていること。句読点を適切に打っていること。 (〔知識及び技能〕(1)ウ)	◎【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、学習の見通しをもつて「ショートショート」を書くこととしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ア)	◎【態度】積極的に、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、学習の見通しをもつて「ショートショート」を書くこととしている。
「月」のつく言葉	1 (書く1)	△昔から「月」に対してさまざまな呼称があったことを知り、「月」に関連する言葉を集める。 △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ △見易い文脈調の朗歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。 ⇒◎知技(3)ア ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒◎思判表B(1)ア ■記録や報告などの文章を読み、分かったことや考えたことを、本文を引用しながら説明したり意見を述べたりする活動。 ⇒思判表B(2)ア □人物の気持ちや場面が移り変わるおもしろさを読み、読書の世界を豊かにする。	見易い文脈調の朗歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいること。 (〔知識及び技能〕(3)ア)	「書くこと」において、相手や目的を意識し、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、学習の見通しをもつて「月」に関連する言葉を集めようとしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ア)	進んで「月」に関わる言葉を集めるなどして言葉の響きやリズムに親しみ、学習の見通しをもつて「月」に関連する言葉を集めようとしている。
一 場面のうつかりわりと結びつけ、登場人物の変化を認めよう	8 (書く2)				

ごんぎつね		△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、読者を豊かにすること。⇒◎知技(1)イ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ □場面の移り変わりや登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉えること。⇒思判表C(1)イ □登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。⇒◎思判表C(1)エ □文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。⇒◎思判表C(1)ウ □文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。⇒思判表C(1)カ □詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。⇒思判表C(2)イ ★道徳・物語の読みをおして、生命の尊さを感じ取り、生命あるものについての見方を深める。	◎【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、読者を豊かにすること。⇒◎知技(1)イ ◎【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、読者を豊かにすること。⇒◎知技(1)イ 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。〔(思)考力、(判)断力、(表)現力等〕B(ウ) 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。〔(思)考力、(判)断力、(表)現力等〕C(エ) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。〔(思)考力、(判)断力、(表)現力等〕C(ウ)	積極的に、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の意図をもって物語のボスターを作ろうとしている。	
「読書発表会」をしよう		△紹介したい本を何冊か選び、「読書発表会」で発表する。 △紹介したい本を何冊か選び、「読書発表会」をし、読書の幅を広げる。 △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒知技(1)カ △文章全体の内容や構成の大体を意識しながら音読すること。⇒知技(1)ク △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒◎知技(2)イ △幅広く読者に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。⇒◎知技(3)オ □登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。⇒思判表C(1)エ □文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。⇒思判表C(1)ウ □文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。⇒◎思判表C(1)カ □詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。⇒思判表C(2)イ □学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。⇒思判表C(2)ウ	比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。〔(知)識及び(技)能〕(2)イ 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。〔(知)識及び(技)能〕(3)オ	「読むこと」において、文章を読んで感じたことと共有し、学習の意図をもって「読書発表会」で本を紹介しようとしている。	
言葉が表す感じ、言葉から受ける感じ	4 (話す聞く1)	△言葉や音の表すイメージや、イメージに即した言葉を考えたりすることによって、言葉の特性について考える。 △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。⇒◎知技(1)ア △相手の意見を見て話したり聞いたりすることともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。⇒知技(1)イ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒◎知技(2)ア ◎相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。⇒◎思判表A(1)イ ◎話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。⇒思判表A(1)ウ ◎必要のことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを持つこと。⇒思判表A(1)エ ◎互いの考えを伝えあうとして、グループや学級全体で話し合う活動。⇒思判表A(2)ウ ◎司会者や発言者などの役割を果たしながら、話し合いの進捗に合わせて、互いの考えをよく伝え合って話し合う。	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。〔(知)識及び(技)能〕(1)ア 「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。〔(知)識及び(技)能〕(2)イ	進んで、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこととして、学習の意図をもって、言葉がもつイメージについて考えようとしている。	
二 目的や進め方をたしかめて話し合う 新スボウを考えよう	8 (話す聞く8)	△相手の意見を見て話したり聞いたりすることともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒◎知技(2)イ ◎目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。⇒思判表A(1)ア ◎相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。⇒思判表A(1)イ ◎話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。⇒思判表A(1)ウ ◎必要のことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを持つこと。⇒思判表A(1)エ ◎目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。⇒◎思判表A(1)オ ◎グループや学級全体で話し合いなど、考えを伝え合う活動。⇒思判表A(2)ウ ☆総合的な学習の時間・特別活動など：司会者や提案者・記録者などの役割を知り、分担して話し合いを進める。合意形成の仕方学ぶごとに生かせる。	考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。〔(知)識及び(技)能〕(2)ア 「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめる。〔(思)考力、(判)断力、(表)現力等〕A(オ) 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。〔(知)識及び(技)能〕(2)イ	積極的に目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめる。〔(思)考力、(判)断力、(表)現力等〕A(オ)	
漢字の広場 ④ いろいろな意味を表す漢字	2	△一つの漢字には、複数の意味がある場合が多いことを理解する。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒知技(2)イ	前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。〔(知)識及び(技)能〕(1)エ	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習課題に沿って、漢字がもつ複数の意味について考えようとしている。	
漢字の広場 ④ 三年生で学んだ漢字 ④	2 (書く2)	△絵を見て想像したこととをともに、3年生で学んだ漢字を使って文を書く。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体の違いに注意しながら書くこと。⇒知技(1)キ ■書くこととしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けられること。⇒◎思判表B(1)オ ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。⇒思判表B(2)ウ	前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。〔(知)識及び(技)能〕(1)エ 「書くこと」において、書く内容の中心を明確にしているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けられる。〔(思)考力、(判)断力、(表)現力等〕B(オ)	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、漢字がもつ複数の意味について考えようとしている。	
三 大事な言葉や文に気をつけて話しよう	9 (書く2)	□ワギマメの産卵や成長を研究する名古屋港水族館の取り組みを時系列に沿って読み、興味をもった点から整理して文章を要約する。			
ワギマメの命をつなぐ		△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒知技(1)カ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒◎知技(2)イ △幅広く読者に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。⇒知技(3)オ ■書く内容の中心を明確にして、内容のまとまりで段落をつくらせ、段落相互の関係に注意して、文章の構成を考えること。⇒思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ ■書くこととしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けられること。⇒思判表B(1)オ □段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。⇒思判表C(1)ア □目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。⇒◎思判表C(1)ウ □文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。⇒◎思判表C(1)ウ □文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。⇒思判表C(1)カ ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア □図録や報告などの文章を読み、分かったことや考えたことを、本文を引用しながら説明したり意見を述べたりする活動。⇒思判表C(2)ア	考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。〔(知)識及び(技)能〕(2)ア 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。〔(知)識及び(技)能〕(2)イ	「書くこと」において、書く内容の中心を明確にして、内容のまとまりで段落をつくらせ、段落相互の関係に注意して、文章の構成を考える。〔(思)考力、(判)断力、(表)現力等〕B(イ) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。〔(思)考力、(判)断力、(表)現力等〕C(ウ)	
二つのことがらをつなぐ	2	△二つの事柄をつなぐとき、使う言葉によって内容が大きく変われることを理解し、接続語のはたらきを意識して、正しく使い分ける。 △様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、読者を豊かにすること。⇒◎知技(1)イ △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒◎知技(1)カ	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。〔(知)識及び(技)能〕(1)カ	進んで接続する語句の役割について理解し、学習の意図をもって、接続語のはたらきを意識して正しく使い分けようとしている。	
四 調べたことをわかりやすく書く	6 (書く6)	■図や写真などの資料を活用し、紙面を工夫して図鑑を作る。			
「不思議ずかん」を作ろう		△漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。⇒知技(1)ウ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒◎知技(2)イ ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ウ ■書く内容の中心を明確にして、内容のまとまりで段落をつくらせ、段落相互の関係に注意して、文章の構成を考えること。⇒思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ ■間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。⇒◎思判表B(1)エ ■書くこととしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けられること。⇒思判表B(1)オ ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア	比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。〔(知)識及び(技)能〕(2)イ	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。〔(思)考力、(判)断力、(表)現力等〕B(ウ) 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。〔(思)考力、(判)断力、(表)現力等〕B(ウ) 「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。〔(思)考力、(判)断力、(表)現力等〕B(エ)	積極的に、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫し、学習の意図をもって「不思議ずかん」を作ろうとしている。

故事成語		△故事成語の意味を知り、友達に紹介するためのカードを作る。 ■長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。 ⇒③知技(3)イ ■自分の考えとそれを変える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒④思判表B(1)ウ ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア ☆総合的な学習の時間・道徳：ことわざの成り立ちや意味について興味をもって調べたり、我が国の伝統や文化に目を向たりする。	長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。(〔知識及び技能〕(3)イ)	「書くこと」において、自分の考えとそれを変える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B7)	積極的に、長い間使われてきた故事成語の意味を知り、学習の見通しをもってカードにまとめようとしている。
詩を楽しむ いろいろな詩 おおきな木 とびはこ だんだん	4 (書く1) 2	□さまざまな形の作品を読みながら、詩の世界を楽しむ。 △文章全体の内容や構成の大体を意識しながら音読すること。 ⇒③知技(1)ク △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒知技(3)オ □登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けで具体的に想像すること。 ⇒④思判表C(1)エ □文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつこと。 ⇒④思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことに気付くこと。 ⇒思判表C(1)カ □詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(〔知識及び技能〕(1)ク) 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けで具体的に想像している。(〔思考力、判断力、表現力等〕C2) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつこと。 ⇒④思判表C(1)オ 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(〔思考力、判断力、表現力等〕C2)	進んで、詩を読んで理解したことに基いて感想や考えをもち、学習の見通しをもって発表しようとしている。	
漢字の広場 ⑤ 熟語のでき方	2	△二つの漢字を組み合わせた熟語の構成について、問題を解きながら確認し、二つの漢字のつながり方を考える。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を熟次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒③知技(1)エ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ	前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)		積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、二つの漢字を組み合わせた熟語の構成について考えようとしている。
漢字の広場 ⑤ 三年生で学んだ漢字 ⑤	2 (書く2)	△絵を見て想像したことをもとに、3年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を熟次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒③知技(1)エ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1)キ ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒④思判表B(1)ア ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ	前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B7)	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書くようとしている。
五 自分の経験と結びつけて考えよう	15 (話す聞(9,書く1))	○「便利だな」と思うものを思い浮かべ、その理由から自分にとっての「便利」とはどういうことが話し合う。			
身のまわりの「便利」なものを考えよう	1 (話す聞(1))	○身のまわりの道具や設備などが「便利」なものを選び、使いやすくなる工夫を考え話し合う。 △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。 ⇒③知技(1)ア ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒④思判表A(1)ア ○目的や決め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。 ⇒思判表A(1)オ ○互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動。 ⇒思判表A(2)ウ	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ア)	話すこと「聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(〔思考力、判断力、表現力等〕A7)	進んで、目的を意識して日常生活の中から集めた材料を比較したり分類したりして、学習の見通しをもって、クラス全体やグループで話し合うようとしている。
「便利」ということ	6 (書く1)	□「便利」とはどういうことかを考えながら読み、自分の経験と照らし合わせながら考えをまとめる。 △主題と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ⇒知技(1)カ △考えとそれを変える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒④知技(2)ア △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。 ⇒④知技(2)イ △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒③知技(3)オ ■事(内容)の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを変える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ■書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けたりすること。 ⇒思判表B(1)オ □段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを変える理由や事例との関係などについて、叙述を基に提案すること。 ⇒思判表C(1)ア □文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつこと。 ⇒④思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。 ⇒④思判表C(1)カ ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ □絵画や報告などの文章を読み、分かったことや考えたことを、本文を引用しながら説明したり意見を述べたりする活動。 ⇒思判表C(2)ア □学校図鑑書庫などを活用し、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことをまとめて説明する活動。 ⇒思判表C(2)ウ	考えとそれを変える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(〔知識及び技能〕(2)ア) 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(〔知識及び技能〕(2)イ) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(〔知識及び技能〕(3)オ)	「書くこと」において、自分の考えとそれを変える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B7) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもち、学習の見通しをもって、クラス全体やグループで話し合うようとしている。	積極的に、文章を読んで理解したことに基いて感想や考えをもち、学習の見通しをもって「便利」という考えを文章にまとめようとしている。
調べたわかったことを発表しよう	8 (話す聞(8))	○調べたことについて、写真や図表、表やグラフなどを使って説明したり、話の中心に気を付けて聞いたりする。 △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1)キ △考えとそれを変える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。 ⇒④知技(2)イ ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒思判表A(1)ア ○相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。 ⇒思判表A(1)イ ○話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫すること。 ⇒④思判表A(1)ウ ○必要となることを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを持つこと。 ⇒思判表A(1)エ ○質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動。 ⇒思判表A(2)イ ☆社会科・理科・総合的な学習の時間など：調べたことや観察したことをポスターを使って効果的に発表する。	比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(〔知識及び技能〕(2)イ)	話すこと「聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫し、見通しをもって調べたことを発表しようとしている。(〔知識及び技能〕(2)イ)	積極的に、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強調、間の取り方を工夫し、見通しをもって調べたことを発表しようとしている。
点(.)を打つところ	2	△読点のはたらきを理解して、正しく使い分ける。 △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。 ⇒③知技(1)ウ △主題と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ⇒知技(1)カ	漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っていること。 (〔知識及び技能〕(1)ウ)		進んで句読点のはたらきを理解し、学習課題に沿って、文や文章の中で適切に使うようとしている。
六 伝えたいことをはっきりさせて書く 自分の成長をふり返って	9 (書く9)	■様子が見えるように、よりよい表現を選んで書く。 △「書」を使った言語表現を集める。 △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。 ⇒③知技(1)ウ △主題と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ⇒③知技(1)カ △考えとそれを変える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア ■事(内容)の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを変える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒④思判表B(1)ウ ■間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えること。 ⇒④思判表B(1)エ ■書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けたりすること。 ⇒④思判表B(1)オ ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア	漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っていること。 (〔知識及び技能〕(1)ウ) 主題と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(〔知識及び技能〕(1)カ) 「書くこと」において、書こうとしたことを意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B7)	「書くこと」において、自分の考えとそれを変える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B7) 「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B7)	積極的に、書こうとしたことが明確になっているかなど文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって、よりよい表現を選んで文章を書くようとしている。
雪	1 (書く1)	△「雪」を使った言語表現を集める。 △考えとそれを変える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア ■長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。 ⇒③知技(3)イ ■自分の考えとそれを変える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒④思判表B(1)ウ ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア	長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。(〔知識及び技能〕(3)イ)	「書くこと」において、自分の考えとそれを変える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B7)	進んで、長い間使われてきた「雪」に関する理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫しようとする。学習の見通しをもって「雪」に関する詩歌や言葉を集めようとしている。
漢字の広場 ⑥ 同じ読み方の漢字の使い分け	2	△異字同訓や同音異義語の使い分けについて意識をもって、漢字を臨んだり書きたりする。 △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。 ⇒③知技(1)ウ △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を熟次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ	漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っていること。 (〔知識及び技能〕(1)ウ)		進んで同じ読み方の漢字の使い分けを理解し、学習課題に沿って、文や文章の中で正しく使おうとしている。

漢字の広場 ⑥ 三年生で学んだ漢字 ⑥	2 (書く2)	△輪を見て想像したことをもとに、3年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1)キ ■書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ⇒◎思判表B(1)イ ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ	前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。 (〔知識及び技能〕(1)エ)	「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。((思判力、判断力、表現力等)Bイ)	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、お話の一場面を書くようにしている。
七 場面うつり変わり、登場人物の気持ちの変化を認もう	8 (書く2)	□登場人物の考え方の違いや、その移り変わりを考えながら読み、気に入った場面を物語のように書きかえる。			
木電うるし (人形けき)		△相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。 ⇒◎知技(1)イ △文章全体の内容や構成の大体を意識しながら音読すること。 ⇒知技(1)ク △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒知技(3)オ ■書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ■書くことしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)オ □場面の移り変わりや登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉えること。 ⇒思判表C(1)イ □登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ □文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。 ⇒◎思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。 ⇒◎思判表C(1)カ ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ □詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ ☆道徳・物語の読みをおして、友達と互いに理解し、信頼し、助け合うことについての考え方を深める。	相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 (〔知識及び技能〕(1)イ)	「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。((思判力、判断力、表現力等)Bイ) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。((思判力、判断力、表現力等)Cウ) 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。((思判力、判断力、表現力等)Cカ)	積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつて、脚本を物語のように書きかえようとしている。
国語の学習 これまで から	2 (話す聞く、書く1)	○一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、すんで学習できるようにする。 △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。 ⇒◎知技(1)イ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒思判表A(1)ア ○話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。 ⇒◎思判表A(1)ク ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表B(1)ウ ○説明や報告など調べたことを話したり、それらに関わりたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア ■記録や報告などの文章を読み、分かったことや考えたことを、本文を引用しながら説明したり意見を述べたりする活動。 ⇒思判表B(2)ア	相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 (〔知識及び技能〕(1)イ)	「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫して話している。 ((思判力、判断力、表現力等)Aウ) 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ((思判力、判断力、表現力等)Bウ)	進んで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、今までの学習を生かして、1年間の国語の学習を振り返ったり次へへの希望を話したりしようとしている。

[illegible]

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. 春の生き物	8	春の生き物の生活の中で、動物の活動や植物の成長に興味・関心をもち、1年間の観察記録を計画を立てて観察観察を行い記録する。動物の成長のようすを観、結果をわかりやすく記録している。(行動観察・記録分析)	温度計を安全に正しく使い、気温や水温を測る。測定の結果をわかりやすくまとめる。(記録分析・ペーパーテスト)	春の生き物のようすについて、予想や仮説を思い、表現している。(発言・記録分析) 春の生き物のようすと季節の変化を関係づけて考察し、表現している。(発言・記録分析)	春の生き物に逢んでかかわり、他者とかがわりながら、季節による違いを調べようとしている。(行動観察・記録分析) 植物の成長に逢んでかかわり、他者とかがわりながら、植物を育てていこうとしている。(行動観察)
2. 天気と1日の気温	5	晴れや曇り、雨の日に、1日の気温の変化を観、天気によって1日の気温の変化のしかたに違いがあることを考えようとする。	温度計を正しく使いながら、天気や1日の気温の変化のしかたを観、測定した気温との結果をわかりやすくまとめている。(行動観察・記録分析)	1日の気温の変化と天気の様子について予想や仮説を思い、表現している。(発言・記録分析) 1日の気温の変化のしかたについて、観察の結果から考察し、表現している。(発言・記録分析)	天気やようすや1日の気温の変化に逢んでかかわり、他者とかがわりながら、天気や気温を調べようとしている。(発言・行動観察)
地面を流れる水のゆくえ	5	雨のちの排水溝や溝、川、池、湖、海などの水の流れのようすを観、水がどこへ流れているかを調べ、結果をわかりやすく記録している。(行動観察・記録分析)	水は高い場所から低い場所へ下流へと流れることを理解している。(行動観察・記録分析)	高い場所と低い場所の水の出入りについて、土のようすや流れのようすを、観察の結果を予想や仮説を思い、表現している。(発言・記録分析)	地面を流れる水のゆくえに逢んでかかわり、他者とかがわりながら、そのようすを調べようとしている。(行動観察・発言・記録分析) 水がどこへ流れているかを調べようとしている。(行動観察・発言・記録分析)
3. 電気のはたらき	7	乾電池の電や電線を通る電流の大きさや向きを、モーターの回り方や電線のようすに着目し、それらと関係づけて電気のはたらきについて観察し、結果をわかりやすくまとめる。	乾電池の電や電線を通る電流の大きさや向きを、モーターの回り方や電線のようすに着目し、それらと関係づけて電気のはたらきについて観察し、結果をわかりやすくまとめる。	電線を通る電流の向きとモーターの回り方について予想や仮説を思い、表現している。(発言・記録分析)	乾電池とモーターを使ったおもちゃを動かすことに逢んでかかわり、他者とかがわりながら、乾電池のはたらきを調べようとしている。(行動観察)
夏の生き物	4	夏の動物の活動や植物の成長に興味・関心をもち、観察し、結果をわかりやすくまとめる。	植物の成長のようすを観、結果をわかりやすく記録している。(行動観察・記録分析)	植物の成長のようすを観、結果をわかりやすく記録している。(行動観察・記録分析)	夏の生き物に逢んでかかわり、他者とかがわりながら、季節による違いを調べようとしている。(行動観察・記録分析)
夏の夜空	2	星を観望し、空には明るさや色や遠く星が、月や星の位置や動きを観、結果をわかりやすくまとめる。	方位磁針を正しく使って月の位置を観、月と星の位置を観、結果をわかりやすくまとめる。	月の動きについて逢んでかかわり、他者とかがわりながら、月の動きを調べようとしている。(行動観察・記録分析)	夏の夜空に輝く星に逢んでかかわり、他者とかがわりながら、観察しようとしている。(発言・記録分析)
4. 月や星の動き	6	月や星を観望し、その位置の変化を観、結果をわかりやすくまとめる。	方位磁針を正しく使って月の位置を観、月と星の位置を観、結果をわかりやすくまとめる。	月の動きについて逢んでかかわり、他者とかがわりながら、月の動きを調べようとしている。(行動観察・記録分析)	夏の夜空に輝く星に逢んでかかわり、他者とかがわりながら、観察しようとしている。(発言・記録分析)
5. とじこめた空気や水	6	空気や水を入れた容器を安全に正しく使って、閉じ込めた空気や水の性質を観、結果をわかりやすくまとめる。	空気や水を入れた容器を安全に正しく使って、閉じ込めた空気や水の性質を観、結果をわかりやすくまとめる。	閉じ込めた空気や水の性質を観、結果をわかりやすくまとめる。	閉じ込めた空気や水の性質を観、結果をわかりやすくまとめる。
6. ヒトの体のつくりと運動	6	ヒトの体のつくりと運動を観、結果をわかりやすくまとめる。	ヒトの体のつくりと運動を観、結果をわかりやすくまとめる。	ヒトの体のつくりと運動を観、結果をわかりやすくまとめる。	ヒトの体のつくりと運動を観、結果をわかりやすくまとめる。
秋の生き物	4	秋の動物の活動や植物の成長に興味・関心をもち、観察し、結果をわかりやすくまとめる。	植物の成長のようすを観、結果をわかりやすく記録している。(行動観察・記録分析)	植物の成長のようすを観、結果をわかりやすく記録している。(行動観察・記録分析)	秋の生き物に逢んでかかわり、他者とかがわりながら、季節による違いを調べようとしている。(行動観察・記録分析)
7. もの温度と体積	8	温度や体積を観、結果をわかりやすくまとめる。	温度や体積を観、結果をわかりやすくまとめる。	温度や体積を観、結果をわかりやすくまとめる。	温度や体積を観、結果をわかりやすくまとめる。
冬の夜空	2	星を観望し、空には明るさや色や遠く星が、月や星の位置や動きを観、結果をわかりやすくまとめる。	方位磁針を正しく使って月の位置を観、月と星の位置を観、結果をわかりやすくまとめる。	月の動きについて逢んでかかわり、他者とかがわりながら、月の動きを調べようとしている。(行動観察・記録分析)	冬の夜空に輝く星に逢んでかかわり、他者とかがわりながら、観察しようとしている。(発言・記録分析)
冬の生き物	3	冬の動物の活動や植物の成長に興味・関心をもち、観察し、結果をわかりやすくまとめる。	植物の成長のようすを観、結果をわかりやすく記録している。(行動観察・記録分析)	植物の成長のようすを観、結果をわかりやすく記録している。(行動観察・記録分析)	冬の生き物に逢んでかかわり、他者とかがわりながら、季節による違いを調べようとしている。(行動観察・記録分析)
8. ものあたたまり方	7	あたたまり方を観、結果をわかりやすくまとめる。	あたたまり方を観、結果をわかりやすくまとめる。	あたたまり方を観、結果をわかりやすくまとめる。	あたたまり方を観、結果をわかりやすくまとめる。
9. 水のすがた	7	水が氷になる様子を観、結果をわかりやすくまとめる。	水が氷になる様子を観、結果をわかりやすくまとめる。	水が氷になる様子を観、結果をわかりやすくまとめる。	水が氷になる様子を観、結果をわかりやすくまとめる。
10. 水のゆくえ	5	水が氷になる様子を観、結果をわかりやすくまとめる。	水が氷になる様子を観、結果をわかりやすくまとめる。	水が氷になる様子を観、結果をわかりやすくまとめる。	水が氷になる様子を観、結果をわかりやすくまとめる。
生き物の1年間	2	1年間の観察記録を生き物に費やし、結果をわかりやすくまとめる。	1年間の観察記録を生き物に費やし、結果をわかりやすくまとめる。	1年間の観察記録を生き物に費やし、結果をわかりやすくまとめる。	1年間の観察記録を生き物に費やし、結果をわかりやすくまとめる。

教科	図画工作	学年	第4学年
----	------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
絵の具のぼうけん、たのしさ発見！	4	○思いがけない形や色をたのしもう。 ○絵の具の新しい使い方をを見つけよう。 ○思いがけない形や色をたのしもう。	○身のまわりのものを使って絵の具遊びをしながら、つくり出した形や色などの感じがわかっていく。 ○身のまわりのものを工夫して使ったり、思いついた絵の具の使い方を試したりして、絵の具遊びをしている。	○思いがけない形や色などの感じや面白さからイメージを広げ、絵の具の新しい使い方を見つけていく。	○いろいろな用具を使って、絵の具でできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくり出すことをたのしもうとしたりしている。
つけて、のぼして、生まれる形	2	○いろいろな形の表し方を工夫しよう。 ○粘土をつけながら、どんな形にしたいかを考えよう。 ○粘土の感触を味わいながら、つくことをたのしもう。	○粘土に触れたり動かしたりして、形の感じや変化がわかっていく。 ○握る、かき出す、ねじる、積み上げるなど、手や用具を使いながら、いろいろな形の表し方を工夫している。	○粘土をつけたりのぼしたりしてできた形の感じをもとにイメージを広げ、どのような形にしたいかを考えている。	○粘土の感触を味わいながら、進んでつくことをたのしもうとしている。
キラキラワールド	4	○材料を生かした組み合わせ方を工夫しよう。 ○材料の特徴から表したいことを考えよう。 ○キラキラ紙を使って、絵にすることをたのしもう。	○キラキラ光る材料を見たり、触れたり、集めたりするを通して、材料の形や色などの感じがわかっていく。 ○キラキラ光る材料の形や色、触感などを生かして、組み合わせや重なりなどを工夫している。	○キラキラ光る材料の特徴からイメージを広げ、表したいことを考えている。	○キラキラ光る材料を使って絵に表すことをたのしもうとしている。
かみわぎ！ 小物入れ	6	○箱のつくり方や組み合わせ方を工夫しよう。 ○使ってたのしい小物入れを考えよう。 ○小物入れをたのしくつくろう。	○色厚紙を折ったり、切ったり、箱を組み合わせたりのしな、形や色などの感じがわかっていく。 ○はさみやカッターナイフについての経験を生かしながら、表したい小物入れのイメージに合わせて箱のつくり方や組み合わせ方を工夫している。	○自分のイメージや形や色などの感じをもとに、使ってみたい小物入れを思いつき、表し方やどのようにするかを考えている	○小物入れをつくることにたのしく取り組もうとしている。
学校もりあげマスコット	4	○マスコットの形や色を工夫しよう。 ○場所や物から、マスコットを考えよう。 ○マスコットをつくって飾ってたのしもう。	○マスコットを描くことを通して、形や色などの感じがわかっていく。 ○表したいマスコットに合わせた形や色の工夫をしている。 ○	○学校の場所やものからイメージを広げ、想像したことから、どのようにマスコットに表すかについて考えている。	○学校の場所やものからイメージを広げ、想像したことから、どのようにマスコットに表すかについて考えている。
絵から聞こえる音	4	○感じた音を表す形や色の組み合わせ方を工夫しよう。 ○感じた音から、形や色で表すことを考えよう。 ○互いの感じ方の違いを味わったり、たのしんだりしよう。	○自分の感覚で絵を見えることを通して、音を表す形や色などの感じがわかっていく。 ○自分の感じた音のイメージをもとに、自分の見方や考え方を広げながら形や色で表すことを考えている。	○自分の感じた音のイメージをもとに、自分の見方や考え方を広げながら形や色で表すことを考えている。	○互いの感じ方の違いやよさを味わったりたのしんだりしようとしている。
つくって、つかって、たのしんで	8	○板の切り方や切った板の組み合わせ方を工夫しよう。 ○使ってたのしいものを考えよう。 ○作品をつくってたのしもう。	○のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板を組み合わせたりにして、形や色やその組み合わせの感じがわかっていく。 ○のこぎりなどの用具の扱いに慣れ親しみ、板の切り方や組み合わせ方を工夫している。	○板の形や組み合わせの感じをもとに、自分のイメージを広げ、使ってたのしいものを思いつき、つくる方法や手順など見直しをもって考えている。	○つくることや、つくったものを使うことをたのしもうとしている。
ほって表す不思議な花	8	○彫刻刀の使い方に慣れ、彫り方や刷り方を工夫しよう。 ○表したい花を考えよう。 ○彫って刷ることをたのしもう。	○彫ったり刷ったりすることを通して、形や色などの感じがわかっていく。 ○彫刻刀の扱いに慣れ親しみ、表したいことに合わせて彫り方や刷り方などを試しながら工夫して表している	○彫りでできる形や刷りの色などから自分のイメージをもち、表したい花を思いつき、表し方について考えている。	○版を彫刻刀で彫ったり、インクをつけて刷ったりすることをたのしもうとしている。
飛び出すハッピーカード	6	○飛び出す仕組みを生かしたカードを工夫しよう。 ○贈る相手を思い浮かべてカードを考えよう。 ○カードで気持ちを伝えることをたのしもう。	○飛び出す仕組みを生かしたカードを工夫しよう。 ○贈る相手を思い浮かべてカードを考えよう。	○贈る相手のことを思い浮かべながら伝えたいことを思いつき、形や色、仕組みを生かして、どのようにカードに表すかを考えている。	○つくったカードで気持ちを伝えることをたのしもうとしている。
ゆめいろらんぷ	6	○ランプの材料や色の組み合わせ方を工夫しよう。 ○光を通した感じから、つくりたいランプを考えよう。 ○ランプをつくり、みんなで飾ることをたのしもう。	○光が透過する材料の形や色の組み合わせ方を試すことを通して、材料の形や色の特徴や感じがわかっていく。 ○用具を適切に使い、光を透過する材料の形や色、その組み合わせを、表したいことに合わせて工夫している	○映る光の色や影の形からイメージを広げてつくりたいランプの形を見つけ、表し方について考えている。	○材料を透過する光の美しさや面白さなどを自分の感覚で感じながらランプをつくり、みんなでランプを飾ることをたのしもうとしている。
どろどろカッチン	6	○布の形や固め方を工夫しよう。 ○布が固まった形から、表したいことを考えよう。 ○液体粘土の感触を味わおう。	○布や芯材に触れたりしながら、形などの感じがわかっていく。 ○布や液体粘土の特性を生かして、布の形や固め方を工夫している。	○固まった布の形から、自分のイメージを広げ、表したい世界やものを思いつき、どのように表すかを考えている。	○液体粘土の感触を味わいながら活動に取り組もうとしている。
わくわくネイチャーランド	2	○場所に合った活動を工夫しよう。 ○自然の場所を生かしてたのしい遊び場を考えよう。 ○友達と協力してたのしく活動しよう。	○活動を通して、活動場所にある自然のものの形や色、場所の感じがわかっていく。 ○見たり、触れたり、動いたりしながら、広さや起伏など活動する場所の特徴や、自然材料の形や色などの感じを生かして活動を工夫してつくっている。	○自然の場所の特徴を生かして、自分のイメージをもったり友達とイメージを共有したりして、活動を思いついたり、変化させたりしながらどのように活動するかを考えている。	○身近な場所や自然材料に関心をもち、自分の思いを追求したり、友達と協力したりして、たのしく活動しようとしている。

教科	体育	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体ほぐしの運動	3	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	・体ほぐしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や友達の心と体の状態に気付いたり、みんなで豊かに関わり合ったりすることができる。	・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりにして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。	・体ほぐしの運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
多様な動きをつくる運動	5	・体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を使った動き、力試しの動きを身に付け、それらを工夫したり、組み合わせたりする。	・多様な動きをつくる運動の行い方がわかる。 (ア)体のバランスをとる運動 姿勢や方向、人数を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、座る、立つ、渡るなどの動きやバランスを保つ動きで構成される運動を通して、体のバランスをとる動きを身に付けることができる。 (イ)体を移動する運動 姿勢、速さ、リズム、方向などを変えて、這う、歩く、走る、跳ぶ、はねる、登る、下りるなどの動きで構成される運動や、一定の速さでのかけ足などの運動を通して、体を移動する動きを身に付けることができる。 (ウ)用具を操作する運動 用具をつかむ、持つ、降ろす、回す、転がす、くぐる、運ぶ、投げる、捕る、跳ぶ、用具に乗る、跳び越すなどの動きで構成される運動を通して、巧みに用具を操作する動きを身に付けることができる。 エ)力試しの運動 人や物を押す、引く、運ぶ、支える、ぶら下がるなどの動きや、力比べをするなどの動きで構成される運動の行い方を知り、力を出し切ったり力の入れ方を加減したりする動きができる。 (オ)基本的な動きを組み合わせる運動 バランスをとりながら移動する、用具を操作しながら移動するなど二つ以上の動きを同時に行ったり、連続して行ったりする運動を通して、基本的な動きの組み合わせた動きを身に付けることができる。	・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりにして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。	・多様な動きをつくる運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。

令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ゲーム(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名:江戸川区立篠崎第三小学校

マット運動	6	自分の力に合った技を身に付け、できる技の繰り返しや、組み合わせ技に挑戦する。	・マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った回転系(前転など)や巧技系(壁倒立など)の基本的な技ができる。 ・基本的な技に十分に組み組んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ○前転(発展技:開脚前転) ○易しい場での開脚前転 ○開脚後転(発展技:伸膝後転) ○補助倒立ブリッジ(発展技:倒立ブリッジ) ○側方倒立回転(発展技:ロンダート) ○首はね起き(発展技:頭はね起き) ○頭倒立	・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達との技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・マット運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・マットなどの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。
鉄棒運動	6	・鉄棒の技に挑戦したり、技を組み合わせたりして楽しむ。	・鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った支持系の基本的な技をすることができる。 ・基本的な技に十分に組み組んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ○前回り下り(発展技:前方支持回転) ○かかえ込み前回り(発展技:前方支持回転) ○転向前下り(発展技:片足踏み越し下り) ○膝掛け振り上がり(発展技:膝掛け上がり) ○前方片膝掛け回転 ○補助逆上がり(発展技:逆上がり) ○かかえ込み後ろ回り(発展技:後方支持回転) ○後方片膝掛け回転 ○両膝掛け倒立下り	・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達との技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・鉄棒運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・鉄棒などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。
跳び箱運動	8	・自分の力に合った「基本の技」を身に付けたり、「発展技」に挑戦したりする。	・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った切り返し系(開脚跳びなど)や回転系(台上前転など)の基本的な技をすることができる。 ・基本的な技に十分に組み組んだ上で、それらの発展技に取り組むことができる。 ○開脚跳び(発展技:かかえ込み跳び) ○台上前転(発展技:伸膝台上前転) ○首はね跳び(発展技:頭はね跳び)	・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達との技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・跳び箱運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・跳び箱、踏み切り版などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。
かけっこ・リレー	6	・いろいろなかけっこをしたり、きまりを工夫してチーム対抗のリレーをしたりする。	・かけっこ・リレーの行い方がわかる。 ・スタート姿勢から素早く走り出すことができる。 ・真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って走ることができる。 ・走りながら、タイミングよくバトンの受渡しができる。 ・コーナーの内側に体を軽く傾けて走ることができる。 ・最後まで全力で走ることができる。	・かけっこやリレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・かけっこやリレーのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、速く走るための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・8秒間走やリレーの仕方について考え、競走の規則やリレーの仕方を話し合ったり、選んだりしている。 ・かけっこ・リレーのポイントや友達とのよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・かけっこ・リレーに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・かけっこ・リレーをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ゲーム(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名:江戸川区立篠崎第三小学校

小型ハードル走	6	・いろいろなコースで、3歩のリズムで小型ハードルを走り越し、競走する。	・小型ハードル走の行い方がわかる。 ・インターバルの距離やいろいろな小型ハードルの高さに応じて調子よく小型ハードルを走り越すことができる。 ・一定の間隔に並べられた小型ハードルを一定のリズム(3歩のリズム)で走り越すことができる。	・3歩のリズムで調子よく走り越せるコースを作り、自分に合ったコースを選んでいる。 ・小型ハードル走のポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・小型ハードル走のポイントについて見合ったり、教え合ったりしている。 ・競走の仕方について考え、競走の規則を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・小型ハードル走のポイントや友達の良い動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・小型ハードル走に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・小型ハードル走をする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。
走り高跳び	5	・短い助走から強く踏み切って跳び、決まりを工夫して跳び比べをしたり、記録に挑戦したりする。	・走り高跳びの行い方がわかる。 ・3～5歩程度のリズムカルな短い助走から踏切り足を決めて上方に強く踏み切り、高く跳ぶことができる。 ・膝を柔らかく曲げて、足から着地することができる。	・走り高跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・走り高跳びのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、高く跳ぶための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・競争の仕方について考え、競争の規則や記録への挑戦の仕方を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・走り高跳びのポイントや友達の良い動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・走り高跳びに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・走り高跳びをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。
ボール投げ	1	・いろいろな場でボールを投げて、ボールを遠くに投げる。	・ボール投げの行い方がわかる。 ・投げる手と反対の足を踏み出して体重移動をスムーズに行い、腕を大きく振ってボールを遠くまで投げるができる。	・ボール投げのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・ボール投げのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、遠くに投げるための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・競争の仕方について考え、競争の規則や記録への挑戦の仕方を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・ボール投げのポイントや友達の良い動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・ボール投げに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・ボール投げをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

水泳運動	8	・いろいろな浮き方やもぐり方, 簡単なクロールや平泳ぎをする。	【浮いて進む運動】 ・浮いて進む運動の行い方がわかる。 ・友達に手を引かれたり足を押されたりした勢いを利用して, 伏し浮きの姿勢で続けて進むことができる。 ・プールの底や壁を両足で蹴った勢いを利用して進むけ伸びができる。 ・補助具を用いて浮き, 呼吸をしながら手や足を使って進む初歩的な泳ぎができる。 ・水面に顔を付け, 手や足をゆっくりと動かし進むなど, 呼吸を伴わない簡単なクロールや平泳ぎなどの初歩的な泳ぎをすることができる。 ・ばた足泳ぎやかえる足泳ぎ, 簡単なクロールや平泳ぎなど, 頭の上に腕を伸ばした姿勢で, 手や足をバランスよく動かし, 呼吸をしながら進むことができる。 【もぐる・浮く運動】 ・もぐる・浮く運動の行い方がわかる。 ・呼吸を調整しながらプールの底にタッチ, 股くぐり, 変身もぐりなどのいろいろなもぐり方ができる。 ・補助具を使って浮力を生かしたいろいろな浮き方をすることができる。 ・大きく息を吸い込み全身の力を抜いて背浮き, だるま浮き, 変身浮きなどのいろいろな姿勢で浮くことができる。 ・だるま浮きやボビングなどを活用した簡単な浮き沈みができる。	・自分で立てためあてに挑戦し, 自分の課題を見付けている。 ・補助具を活用したり, 友達に補助してもらったりするなど, 自分の力に合った練習の仕方を選んでいる。 ・友達のよい動きや, 課題の解決のための動きのポイントを見付け, 言葉や動作で伝えている。 ・自分で試したいろいろなもぐり方や浮き方を友達に伝えたり, 互いのよい動きの真似をしたりしている。	・水泳運動に進んで取り組んでいる。 ・け伸びをする際に順番にスタートしたり, 決まった場所で友達と練習したりするなど, きまりを守り, 誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを, 友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりするときに見付けた動きのよさや課題について伝え合う際に, 友達の考えを認めている。 ・準備運動や整理運動を正しく行う, バディで互いを確認しながら活動する, シャワーを浴びてからゆっくりと水の中に入る, プールに飛び込まないなど, 水泳運動の心得を守って安全を確かめている。
ゴール型(フラッグフットボール)	7	・作戦を基に攻め方を工夫して, フラッグフットボールをする。	・フラッグフットボールの行い方がわかる。 ・味方にボールを手渡ししたり, パスを出したり, ゴールにボールをタッチダウンすることができる。 ・ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。	・誰もが楽しくフラッグフットボールに参加できるように, プレイヤーの人数やコートの広さ, プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 ・フラッグを取ったり, タッチダウンするための簡単な作戦を話し合って決めたり, 選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉, 絵図などで友達に伝えている。	・フラッグフットボールに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り, 誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを, 友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり, 話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に, 友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど, 周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

ベースボール型(ティーボール)	6	・ボールを打って得点したり、ボールを取ってアウトにしたりして、ティーボールをする。	・ティーボールの行い方がわかる。 ・ボールをフェアグラウンド内に打つことができる。 ・投げる手と反対の足を一歩前に踏み出してボールを投げるができる。 ・向かってくるボールの正面に移動することができる。 ・ベースに向かって全力で走り、かけ抜けることができる。	・誰もが楽しくティーボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート of 広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 ・攻め方や守り方の簡単な作戦を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・ティーボールに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。
ネット型(キャッチバレー)	6	・みんなで繋いで、落とすための工夫をして、キャッチバレーをする。	・キャッチバレーの行い方がわかる。 ・いろいろな高さのボールを片手、両手をでキャッチしたり、パスをしたり、ねらったところに打ったりすることができる。 ・相手コートから飛んできたボールを片手、両手を使ってキャッチし、相手コートに返球することができる。 ・ボールの方向に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に移動したりすることができる。	・誰もが楽しくキャッチバレーに参加できるように、プレイヤーの人数やコート of 広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 ・得点を多くあげるための簡単な作戦を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・キャッチバレーに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。
ゴール型(グリッドサッカー)	8	・パスやシュートをしながら、攻め方を工夫して、グリッドサッカーをする。	・グリッドサッカーの行い方がわかる。 ・ボールを持ったときにゴールに体を向けることができる。 ・味方にパスを出したり、シュートをしたりすることができる。 ・ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。	・誰もが楽しくグリッドサッカーができるように、プレイヤーの人数やコート of 広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 ・得点を多くあげるために、シュートにつながる簡単な作戦を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・グリッドサッカーに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。
表現・ジャングル探検に出発！	6	・ジャングル探検のいろいろな場面の特徴を捉えて、表したい感じを踊る。	・表現「ジャングル探検に出発！」の行い方がわかる。 ・表現「ジャングル探検に出発！」ならではのふざかしい動き(草むらや暗い洞窟を進む、折れそうな橋を渡るなど)で特徴を捉えたりすることができる。 ・表現「ジャングル探検に出発！」の動きの誇張や変化の付け方として、表したい感じを、跳ぶ一転がる、素早く動く一急に止まるなど動きに差を付けて誇張したり、2人組やグループで対応・対立する動きで変化を付けたりして、ひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 ・ひと流れの動きへの工夫の仕方としては、表したい感じを中心に、感じの異なる動きや急変する場面など変化のある動きをつなげてメリハリ(緩急・強弱)のあるひと流れの動きに工夫して感じを込めて踊ることができる。	・表現「ジャングル探検に出発！」の動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 ・表現「ジャングル探検に出発！」におけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 ・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために考えたことや友達のよい動きを伝えている。	・表現「ジャングル探検に出発！」に進んで取り組んでいる。 ・表現「ジャングル探検に出発！」に取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。

令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ゲーム(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名:江戸川区立篠崎第三小学校

リズムダンス	6	・ロックやサンバのリズムに乗って弾んで踊ったり、動きに変化をつけたり、友達と関わり合って踊ったりする。	・リズムダンスの行い方がわかる。 ・ロックサンバのリズムダンスにおいて、変化をつけた動きを入れながら、いくつかの曲を即興的に踊ることができる。 ・2～3人組でロックやサンバのリズムの特徴を捉えた動きや変化をつけた動きで踊ることができる。	・ロックやサンバのリズムの動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見つけている。 ・ロックやサンバのリズムにおけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 ・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために工夫して考えた動きと一緒に踊るなどして伝えている。	・リズムダンスに進んで取り組んでいる。 ・リズムダンスに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。
変化していく体	2	・体は、年齢とともに発育し、変化すること、発育には個人差があることを理解できるようにする。 ・体の発育の仕方には個人差があることを、表やグラフなどの資料から読み取り、説明できるようにする。 ・これまでとこれからの、自分たちの体の変化の仕方や個人差について関心をもち、肯定的に捉えることができるようにする。	・体は年齢とともに発育、変化することがわかる。 ・身長は毎年同じように伸びるのではないこと、どれぐらい伸びるか、どのように伸びるかは一人ひとり違うことがわかる。 ・体重の増え方でも人によって違うことがわかる。 ・発育の仕方には個人差があることがわかる。	・身長伸び方は毎年違うことを、記録することから見つけている。 ・小さいころと比べて今の自分が大きくなったことを、身長伸び以外のことから説明している。 ・身長伸び方に個人差があることを6人の身長の伸び方から読み取り、気づいたことを説明している。	・体の発育に関心をもち、自己の発育について確かめようとしている。 ・発育の仕方には個人差があることをおさえたうえで、自分のこれからの発育に希望や期待をもとうとしている。
思春期の体の変化 ①体の外にあらわれる変化	2	・思春期には体つきの変化や発毛など、体に変化が現れること、それらには男女差、個人差があることを理解できるようにする。 ・思春期に現れる男女の体の変化について、資料を参考にしながら、個人差があることを説明できるようにする。 ・思春期の体の変化に関心をもち、意欲的に調べたり考えたりして、変化することや個人差があることを肯定的に捉えることができるようにする。	・思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの、男子はがっしりした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど、男女の特徴が現れることがわかる。 ・思春期には体つきが変わるほかに、変声、発毛が起こることがわかる。 ・体の変化が始まる時期や、変化の現れ方には個人差があること、これらは大人の体に近づく現象であることがわかる。	・1年生のころの写真と大人の写真から、大人に近づくにつれて男女の体つきにはどんな違いが現れてくるのかを考え、発表している。 ・思春期に起こる体の外の変化にはどのようなものがあるのか、調べ、説明している。 ・思春期に起こる体の変化について、自分の成長と結び付けて考えようとしている。	・思春期に起こる体の変化の学習に関心をもちようとしている。 ・思春期に起こる体の変化について、自己の変化を他者と比べて不安になることなく、自分や友達に理解ある態度で接する心構えをもとうとしている。
思春期の体の変化② 体の中にあらわれる変化	2	・思春期になると、初経・精通が起こり、異性への関心が芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることを理解できるようにする。 ・思春期の体の変化について学習したことを、自分の体の発達と結び付けて考え、表現することができるようにする。 ・新しい生命を生み出す準備として自身の体に変化することについて受け止め、意欲的に学習活動に取り組むことができるようにする。	・思春期には体つきが変わるほかに、初経・精通が起こることがわかる。 ・初経・精通が起こる時期は個人差があることがわかる。 ・初経・精通は、大人の体に近づき、新しい生命を生み出す準備が始まっていることがわかる。 ・思春期になると男女の性の違いに気づきやすくなり、異性のことが気になったり、好きになったりする思いが高まる一方で、反発し合うこともある。これらの心の変化は自然なことであること、変化のしかたは人によって違うことがわかる。	・思春期には、体の中でどのような変化が起こるのかを調べ、変化が起こるしくみを説明している。 ・思春期の心の変化について小さいころと比べて違いを説明している。	・思春期に起こる体の中の変化に関心をもち、自分や友達の体の変化、あるいは異性の体の変化に理解ある態度で接する心構えをもとうとしている。 ・思春期の心の変化を、変化しない場合も含めて、自然なこととして受け入れている。
よりよい発育のために	2	・よりよい発育のためには、適切な運動、調和のとれた食事、休養および睡眠が必要であることを理解できるようにする。 ・よりよい発育のためには、運動、食事、休養・睡眠などにおいて、どのような所気を付けたらよいのか自らの生活を振り返りながら考え、説明できるようにする。 ・よりよい発育のための運動、食事、休養・睡眠について、意欲的に考え、実行にうつすことができるようにする。	・体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達によい運動、多くの種類の食品をとることができるようなバランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠などが必要であることがわかる。 ・運動は、生涯を通じて骨や筋肉などを丈夫にする効果が期待されることがわかる。 ・食事については、特に、体をつくる基になるたん白質、不足しがちなカルシウム、不可欠なビタミンなどを摂取する必要があることがわかる。 ・十分な休養・睡眠をとることは、体と心の疲れをとるだけでなく、体の発育にも関係があることがわかる。	・無理なく、毎日続けられる運動にはどんなものがあるのかを考え、自分に合った無理のない運動をいくつか見つけている。 ・適切な運動を毎日続けていると体にどんな効果があるのかを調べて、説明している。 ・よりよい発育のために、どんな食品を食べるのがよいのかを調べて、発表している。 ・バランスのよい食事にするために、どんな食品をとったらよいのかを考え、他者に伝えている。 ・よりよい発育と、休養・睡眠の関係について考え、説明している。	・毎日無理なくできる運動に興味をもって探し、実施しようとしている。 ・食事のとり方に関心をもち、多くの種類の食品をバランスよく食べることを心がけようとしている。 ・発育と睡眠の関係に関心をもち、よい睡眠をとれるよう心がけようとしている。

教科	外国語活動	学年	第4学年
----	-------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit1 Hello, world! 世界のいろいろなことばであいさつをしよう	2	○さまざまな挨拶の仕方があることに気付くとともに、さまざまな挨拶の言い方に慣れ親しむ。 ○友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合う。 ○相手に配慮しながら、友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合おうとする。	○さまざまな挨拶の仕方があることに気付くとともに、さまざまな挨拶の言い方に慣れ親しんでいる。	○友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合っている。	○相手に配慮しながら、友達を自分の好きな遊びに誘おうとしている。
Unit2 Let's play cards. 好きな遊びをつたえよう	4	○世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、さまざまな動作、遊びや天気の違い、遊びに誘う表現に慣れ親しむ。 ○好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○相手に配慮しながら、友達を自分の好きな遊びに誘おうとする。	○世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、さまざまな動作、遊びや天気の違い、遊びに誘う表現に慣れ親しんでいる。	○好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。	○相手に配慮しながら、友達を自分の好きな遊びに誘おうとしている。
Unit3 I like Mondays. 好きな曜日は何かな？	3	○世界の同年代の子供たちの生活を知るとともに、曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○自分の好きな曜日について、尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○相手に配慮しながら、自分の好きな曜日を伝え合おうとする。	○世界の同年代の子供たちの生活を知るとともに、曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	○自分の好きな曜日について、尋ねたり答えたりして伝え合っている。	○相手に配慮しながら、自分の好きな曜日を伝え合おうとしている。
Unit4 What time is it? 今、何時？	4	○世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や日課の言い方や尋ね方に慣れ親しむ。 ○自分の好きな時間について、尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○相手に配慮しながら、自分の好きな時間について伝え合おうとする。	○世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や日課の言い方や尋ね方に慣れ親しんでいる。	○自分の好きな時間について、尋ねたり答えたりして伝え合っている。	○相手に配慮しながら、自分の好きな時間について伝え合おうとしている。
Unit5 Do you have apen? おすすめの文房具セットをつくろう	4	○文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。	○文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	○文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合っている。	○相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとしている。
Unit6 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう	4	○身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付く。活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。 ○身の回りにはアルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。 ○相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。	○身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付く。活字体の小文字とその読み方に慣れ親しんでいる。	○身の回りにはアルファベットの文字クイズを出したり答えたりしている。	○相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとしている。
Unit7 What do you want? ほしいものは何かな？	5	○食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。 ○欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合う。 ○相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。	○食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しんでいる。	○欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合っている。	○相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとしている。
Unit8 This is my favorite place. お気に入りの場所をしょうかいしよう	4	○世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、教科名や教室名の言い方や道案内の仕方に慣れ親しむ。 ○自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合ったりする。 ○相手に配慮しながら、自分の好きな場所について伝え合おうとする。	○世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、教科名や教室名の言い方や道案内の仕方に慣れ親しんでいる。	○自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合ったりしている。	○相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所について伝え合おうとしている。
Unit9 This is my day. ぼく・わたしの一日	5	○日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付く。日課を表す表現に慣れ親しむ。 ○絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりする。 ○相手に配慮しながら、絵本などの短い話を聞いて反応しようとする。	○日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付く。日課を表す表現に慣れ親しんでいる。	○絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりしている。	○相手に配慮しながら、絵本などの短い話を聞いて反応しようとしている。

教科	総合的な学習の時間	学年	第4学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
障害理解教育 「共に生きる」	35	はこべ学級との交流や、障害のある方の話を聞き、障害についての正しい認識を深めることができる。	○障害のある方の思いや願いを知ることにより、相手の身になって温かく接し、行動できる大切さを理解している。	○視覚障害のある方と交流したり、調べたりして得た情報を基に、パンフレットやポスターに載せたい内容について、分類しながら整理している。	○視覚障害のある方との交流を通して、自分の生活についてじっくり考え、自分に何ができるかを考えて進んで関わろうとしている。

教科	特別活動	学年	第4学年
----	------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級の目標を決めよう	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
自分のめあてを決めよう	1	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
運動会を成功させよう	3	運動会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くなり、信頼し合ったりして生活する。	運動会を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	運動会を通して成長する上での課題に気づき、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	運動会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
雨の日の過ごし方	3	天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	安全に日常生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健康で安全な生活の仕方を身に付けている。	安全に日常生活をおくる上での課題に気づき、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。
1学期を振り返ろう (夏休みの計画を立てよう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
2学期のめあてを決めよう (夏休みを振り返ろう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
★篠三まつりを成功させよう	3	篠三まつりを通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くなり、信頼し合ったりして生活する。	篠三まつりを通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	篠三まつりを通して成長する上での課題に気づき、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	篠三まつりに粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
★学習発表会を成功させよう	6	学習発表会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くなり、信頼し合ったりして生活する。	学習発表会を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	学習発表会を通して成長する上での課題に気づき、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	学習発表会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
2学期のめあてを振り返る (冬休みの計画を立てよう)	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
3学期のめあてを決めよう (冬休みを振り返ろう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
寒さに負けず元気に過ごそう	2	天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	安全に日常生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健康で安全な生活の仕方を身に付けている。	安全に日常生活をおくる上での課題に気づき、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。
委員会活動の準備をしよう	1	高学年への自覚をもち、委員会活動における自己の役割を自覚して、協働することの意義を理解し、よりよい学校生活にするために必要となることについて主体的に考えて行動する。	高学年への自覚をもち、自己の役割を自覚し、自己の良さを生かしながら、よりよい学校生活にするために必要な知識や行動の仕方を理解している。	高学年への自覚をもち、よりよい委員会活動にするための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、創意工夫を発揮したり、他者と協力したりして実践している。	高学年への自覚をもち、よりよい学校生活にするために、それぞれの委員会に応じた計画を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して、主体的に行動しようとしている。
すてきな5年生を目指そう (春休みの計画を立てよう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。次の学年への意識を高めようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

教科	読書科	学年	第4学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ビブリオバトルをしよう 調べる名人になろう	12	○ビブリオバトルを楽しむとともに、友人からの薦めによる読書の広がりをもつことができる。 ○疑問解決のために、図書資料から情報を収集することができる。	○本の内容や要旨を捉え、その本の魅力をまとめる力を身に付けている。 ○日本十進分類法に図書館の本が並んでいることを理解している。	○自己の読書をふりかえり、本のおもしろさやよさについて積極的に自分の意見をまとめ、クラス全体に伝えている。 ○疑問を解決するために記録したカードを使って、必要な情報を分類している。	○進んで本を読み、紹介しようとしている。 ○疑問を解決するために探した本を進んで読んでいる。
読書発表会をしよう ふしぎ図かんを作ろう	15	○複数の本をまとめて紹介するブックトークの活動を通して、読書の世界を豊かにすることができる。 ○身近なことから不思議に思ったことを図書資料の中から探し、みんなに伝えることができる。	○本を複数選び、比べて読んで、相互に関連付けてブックトークの構成を考えている。 ○疑問の解決のために図書館の資料から必要な情報を正確に書き抜いたり、短い言葉や文で表したりしている。	○テーマに合わせて紹介するために、いろいろな本を選んで読んでいる。 ○身近な生活と結び付けて、調べたいことを見つけている。	○紹介したい本を数冊選び、すすんで「読書発表会」をしようとしている。 ○疑問解決のために探した本を進んで読んでいる。
ユニバーサルデザインに関する本を読もう 1年間の自分の読書を振り返ろう	8	○十進分類法を基に、1年間の読書傾向を振り返り、次年度の学習に生かすことができる。	○自己の読書傾向を十進分類法を基にして振り返ることができる。	○読書傾向や読書生活のふり振り返りから、読みたい本を見つけている。	○読書傾向や読書生活を振り返り、読書の良さが分かり進んで本を読もうとしている。